

【1.体制】

(1) 診療放射線技師6名で業務を遂行し、主な業務は一般撮影、CT、MRI、骨密度測定、造影透視で、救急外来に対しても24時間の対応を行った。また健診において胃透視、マンモグラフィ、体組成・骨密度測定、腹部超音波検査などを行った。2024年度よりシステム室に1名兼任となり、一部システム関連業務に従事した。

【2.取組内容と実績】

(1) 放射線機器について

3Dワークステーションの故障に伴い更新を行った。選定に関して済生会熊本中央放射線部とも連携し、情報の共有を行い最適な機器の選定をすることができた。今後も計画的な機器更新で、適切な医療の提供に努めていく。

(2) 放射線科医との連携

本年4月より放射線科医が着任された。それに伴い検査のプロトコルや当該マニュアルなど適宜見直しを行った。医療安全の向上と検査の質の向上に寄与したと考える。今後とも連携を深め、患者様へ安全と安心の検査の実施に努めていく。

(3) 技術連携について

済生会熊本病院中央放射線部と定期的に意見や情報の交換を行い、連携強化に努めてきた。造影剤や検査プロトコルでも情報の共有を行った。また、済生会診療放射線技師長会を通して他施設の情報の取得し当院での業務に活かすことができた。

(4) 放射線管理体制の維持

放射線管理委員会を開催し、定例報告や放射線測定パッチの使用状況などの更新を行った。また、12月11、12日に“診療用放射線の安全管理に関する研修会”を開催した。受講率は96%であった。

(5) 医療連携に関して

8月～9月に済生会熊本病院の連携病院である谷田病院に医療支援を実施。診療放射線技師を1名派遣した。連携病院との関係性を構築すると共に他施設を知る良い機会となり、人材教育の一端ともなった。

(6) 骨密度検査の拡充

整形外科医の退職に伴い、骨密度検査は大幅に減少した。そこでFLS委員会を中心に関連部署と近隣施設の紹介骨密度外来を検討構築した。また、健診などにおいても広報を中心に検査数向上へ努めた。

(7) 休日マンモグラフィ健診の実施

宇城市、上天草市の無料クーポンを利用したマンモグラフィ健診を日曜日に実施した。自治体とも連携し広報などを行うことができた。当院を知る機会にもなり、乳がん健診の啓発にも繋がった。

【3.今後の課題】

(1) 放射線検査室のブラッシュアップ

検査内容はもとより患者さんへ安心安全な検査が実施できるように放射線科医と連携し、マニュアルの見直しや検討を重ねていく。STAT画像報告など画像提供の質を高めて、最適な医療の提供へ貢献できるように努めていく。

(2) 放射線検査に関する院内向け情報提供と教育の継続実施

放射線被ばくや安全管理に関する情報を院内へ発信し、放射線検査に対する意識を高め、放射線被ばくや安全管理に関しての啓蒙を行っていく。研修会の内容などもしっかり検討し、安心安全な検査の提供を実施していきたい。

(3) 他職種との連携

限られた人員・職種で円滑に業務が遂行できるように関連部署とは常に連携をとり、適宜改善策を検討し実施していきたい。システム室や診療支援部・外来など大きな枠組の中で当部署当室員の役割と連携強化に努めていきたい。